

水道給水開始100周年

室蘭の水道の歴史

《詳細》水道施設課 ☎44-6018

室蘭の水道の歴史をご存知ですか？

今年は、水道の給水開始からちょうど100年を迎えます。

普段何気なく使っている水道の歴史を振り返ってみましょう。

千歳水源

水道の始まり

明治5年の開港以来、港湾と工業のまちとして発展してきた室蘭は、河川や伏流水に恵まれず、住民の飲料水はわずかな湧水と井戸水に頼るしかありませんでした。

人口の増加に伴い水道整備の必要性が高まったため、すでに私設水道管が敷設されていた日本製鋼所と受水交渉を重ね、母恋北町の国道筋に敷設されていた配水管の管末を受水地点として分水を受けました。これを水源とした町営水道が、大正3年10月1日、国から正式に認可を受けました。通称石山（現在のスーパードアークス室蘭中央店の周辺）に配水池を設け、大正5年1月1日、ここから蘭西市街地に向けて給水を開始したのが室蘭の水道事業の始まりです。全国では35番目、道内では4番目の早さでした。

その後も人口の増加は続き、使用

水量も増加したため、4期に渡る拡張事業を施行し、計画給水人口は、当初の1万8千500人から最大22万480人にまで増加しました。第2期拡張事業では、昭和15年1月、チマイベツ浄水場からの給水を開始し、念願だった独自の水道体系ができました。

これからの水道

平成22年11月、チマイベツ浄水場の更新工事が完了し、現在は新しくなったチマイベツ浄水場と千歳浄水場の2施設体制となっています。

人口と密接な関わりのある水道ですが、市では、道内で3番目に安い水道料金をできるだけ維持しながら、今後も安全・安心な水を安定的に給水することを目指し、施設の更新や耐震化、大規模な災害への対応など、日常生活に欠かせないライフラインとして、これらの課題に取り組んでいきます。

市の水道施設

○チマイベツ浄水場

チマイベツ川・ペトトル川を水源とし、主に蘭北・蘭西方面に送水しています。1日当たり16,500立方メートルの水を浄水できます。
※1立方メートルは、1,000リットル。



○千歳浄水場



登別川を水源とし、主に蘭東方面に送水します。1日当たり40,000立方メートルの水を浄水できます。

○管理センター

ポンプ場や配水池の水位、送水管・配水管の流量・圧力などを24時間監視し、管理・運転しています。



水道給水開始100周年 記念パネル展

水道事業の年表や、各浄水場建設時の写真などを展示します。

日程 1月16日(土)~24日(日)

会場 東室蘭駅自由通路

《詳細》水道施設課 ☎44-6018

水道年表

- 大正3年(1914年)10月 内務大臣から水道事業の認可を受ける
- 大正5年(1916年)1月 日本製鋼所から受水し、給水を開始(水道事業創設)
- 昭和15年(1940年)1月 チマイベツ浄水場が給水を開始
- 昭和31年(1956年)12月 知利別浄水場が給水を開始
- 昭和42年(1967年)8月 千歳浄水場が給水を開始
- 平成19年(2007年)3月 人口減少で稼働率が低下したため、知利別浄水場を休止
- 平成22年(2010年)11月 約2年間の工期を経て、新チマイベツ浄水場が完成
- 平成28年(2016年)1月 給水開始100周年を迎える